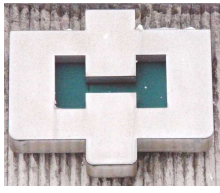


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成29年 5月31日(水) 第4号

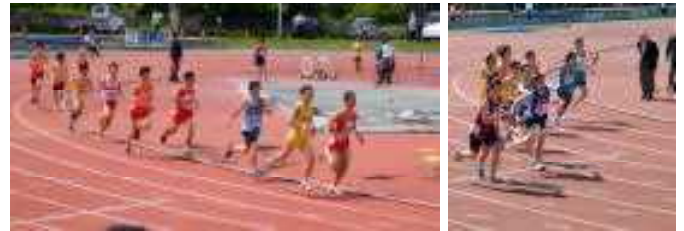
著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

競技と応援 畑中一体感 ～大活躍 入賞多数～

第69回佐渡市中学校陸上競技大会が晴天の下、17日(水)に佐渡市陸上競技場で行われました。畑野中からは49名が選手として参加し、市内中学校で一番多い選手団となりました。自ら積極的に陸上部にも所属し、常設部と両立しながら頑張ってきました。その分応援生徒は半数を切りましたが、応援団を中心にほぼ立ちっぱなしで精一杯応援をしました。選手陣も互いに励まし合い、競技のない時の応援やアップでの声掛け等、協力し合っていました。畑野中の選手の名前がコールされると、応援席からは大拍手、競技前後にはその選手の名前と激励、慰労のエールが競技場に響きました。選手と応援生徒が一体となって盛り上がり、畑野中の団結力がより一層増しました。補助役員の1年生もしっかりとその任を果たし、大会を支えてくれました。

また、ゴール前で諦めない粘り強い姿が随所に見られ、とても感動しました。応援生徒も一緒になって喜び、歓声が上がりました。悔しい場面では一緒に悔しがっていました。つらい中でも最後まで諦めず頑張れる力はこういう切羽詰まった時にしか鍛えられません。そういう意味でも選手の成長を感じ嬉しい限りです。応援の声も後押ししてくれたことでしょうか。入賞は昨年度より多く、これまでの練習の成果です。入賞者は次の通りです。※OP：オープン種目(1～3年共通)

- OP女子 100m 2位 金子
- OP女子 100m 5位 藤原
- 2年女子 100m 7位 生田
- OP男子 800m 5位 恩田
- 1年女子 800m 5位 永田
- OP男子 3000m 5位 田中
- OP男子 4×100mR 7位 中村・森下・齋藤・大倉
- 2年男子 4×100mR 5位 石井・望月・中川・川上
- 1年男子 4×100mR 8位 加賀・鈴木・鳥井・渡部
- OP女子 4×100mR 6位 下峰・金子・藤原・生田
- 2年女子 4×100mR 7位 中村・生田・林・下峰
- OP男子 110mH 2位 齋藤
- OP男子 110mH 6位 中村
- 2年男子 110mH 7位 本間
- 2年男子 110mH 8位 中川
- OP男子 走幅跳 4位 齋藤
- OP男子 走幅跳 5位 大倉
- OP女子 走幅跳 7位 中川
- 1年女子 走幅跳 2位 長嶋
- OP男子 砲丸投 3位 中川
- OP男子 砲丸投 5位 深井
- OP男子 砲丸投 6位 中村



最高の陸上大会

3年 齋藤

すごいと思った。他の中学校よりやる気があり、他の学校より応援の声が大きいことに。陸上大会は市内全中学校が集まる大会だ。その中でも、この学校よりも聞こえてくる声援。3年間で一番の声の大きさだったと思う。

応援が大きければ大きいほど、選手もそれに対して頑張る。それはすごいことだと思う。陸上は個人種目だが団体競技でもある。そのことがすごくよく分かった最後の最高の陸上大会でした。

全力で応援

2年 河原

今年の陸上大会で、応援生徒として参加しました。応援で頑張ったことは、選手のために全力で応援したことです。人数が少ない中だったので、人一倍全身で気持ちを込めて応援しました。嬉しかったことは、自分たちの応援を多くの人に誉めてもらったことです。

今年の陸上大会で学んだことを次の応援の機会に必ず生かしたいです。



2位を取れた

1年 長嶋

陸上大会で2位になりました。すごく嬉しかったです。2位になれたのは、先輩や先生方のお陰でなれたと思います。跳び方やどこで跳ぶかなどいろいろ教えてもらえてよかったです。

そして、2位を取った時、いろいろな人に「おめでとう！」と言われて、頑張ってよかったなと思いました。2位を取れて本当によかったです。



やり切った感の応援団と応援生徒

教育実習始まる ～明るく頑張る後輩に感激～

畑野中卒業生 の佐藤さん、平馬さんが15日から教育実習に来ています。お二人とも3週間、教師になるための実習をしています。もう今週で実習が終わるので、インタビューをお願いしました。畑野中での実習を糧に、立派な教師になってほしいと願っています。

1 自分が中学生の時と比べて、今の畑中をどんなふうに感じますか。

〈全体の雰囲気〉

- ・生徒も先生方も明るく穏やか。生徒と先生方の仲がよい。教務室に入るのに抵抗がない。
- ・挨拶がいい。私たちが中学生の時もよかったが、今も続いていてよい伝統だと思う。
- ・陸上大会の応援がとても熱く、素晴らしかった。「ベスト出してこいや！」のエールは初めて見た。

〈生徒〉

- ・先輩、後輩の仲が良い。私たちの頃は先輩が怖くて、ボール拾いとか後片付けをさせられたが、今は先輩でも見本を示してみんなで進んでやっけていてよいと思う。
- ・小学校が統合したからか分からないが、学年の仲もよい。

〈先生方〉

- ・聞いているだけの授業ではなく、生徒が主体的に活動できるように工夫されている。いろいろな授業での統一感があっている。

2 先輩として、後輩たちにメッセージをお願いします。

今ある時間を大切に

佐藤

皆さんは毎日どのように過ごしていますか？中学での3年間は本当にあっという間に過ぎてしまいます。勉強や部活に一生懸命取り組む時間、仲間と楽しく笑い合う時間など、一つ一つの時間がいつか大切な“宝物”になるはず。一日一日を無駄にせず、かけがえのない仲間とたくさん笑って、最高の思い出をたくさん作ってください。

「挑戦する心」

平馬

「為せば、為る。為さねば為らぬ、何事も。」この言葉は上杉鷹山の言葉です。何事も挑戦しなくては、できる事もできないままという意味です。中学3年間はあっという間で今後10年にも負けない大切な時間です。心の優しい温かな皆さんですから、挑戦すれば皆応援してくれます。元気ハツラツな1年生、素直で真面目な2年生、後輩思いで優しい3年生、これからもたくさん挑戦してください。